

武豊町議会議長 石川 よしはる 殿

武豊町議会議員 本村 強

一 般 質 問 の 通 告 に つ い て

令和 7 年第 3 回武豊町議会定例会において、次のように質問したいから通告します。

質 問 事 項	質問の要旨(具体的にご記入願います)
1. 子どもの居場所づくり、小 1 の壁問題についての第 2 弾	【趣旨説明】失われた 30 年を引きずる形で、可処分所得がなかなか増えない社会状況で、共働き世帯は約 7 割に近いといわれています。特に子育て世代の方は、子どもさんが保育園から小学生に上がる時の「小 1 の壁」という問題にぶつかってしまいます。保育園に通園していた時は、早朝保育や延長保育などの活用をすることで、仕事と子育ての両立ができていたものが、小学校では、子どもを預けられる時間が短くなったり、夏休み、冬休みなど長期休暇が有ったりすることで、子どもの面倒を見ることができなくなり、夫婦のどちらかが勤務時間を短くしたり、家庭によっては、どちらかが仕事をやめざるを得ないという事態に陥ってしまいます。本町においても、放課後児童クラブの拡充などの施策を打っていただいています。しかし、小学校では、登校時間が保育園の時より遅いため、全国的には、子どもが一人になる時間ができてしまったり、玄関の鍵かけを小さい子どもに任せて仕事に出かけなければいけないことや、開門前の校門の前で小さい子どもが門が開くのを待つ姿など、新たに「朝の小 1 の壁」という問題が提起されています。私は令和 6 年 6 月議会一般質問でこの問題について、放課後児童クラブの施設を活用した「早朝児童クラブ」はどうかというご提案をさせていただきました。国においては、昨年（令和 6 年）9 月ごろ、こども家庭庁が、全国 1700 余りの全ての自治体を対象にして、「子どもたちに朝の居場所を提供する取り組みを進めているか」を聞くアンケートを行いました。結果は、回答があった 1017 自治体の内、「取り組みを既に行っている」、または、「実施を検討中」としたのは、合わせて 3%程度の 30 余りの自治体にとどまっていました。都市部において、ニーズが高いといわれる「朝の小 1 の壁」問題ではありますが、近隣の大府市においては、「小学生の早朝の居場所づくりモデル事業」として、2 小学校の体育館で 2 学期から受け入れを試行的に始めるようです。 「知多半島で一番子育てしやすい町」を目指す鳥羽町長の施政方針とも合致するこの問題について、数点お尋ねを致します。

	【質問事項】 ① 放課後の子どもの居場所としての放課後児童クラブの利用状況はどのようになっていますか。 ② 夏休み限定クラブの利用状況はどうでしたか。 ③ 民間事業者による児童クラブ利用状況はどのようになっていますか。 ④ こども家庭庁による「朝の小１の壁」問題についてのアンケートに対する対応はどのようにされたのか。 ⑤ ４小学校の開門時間は何時ですか。 ⑥ 開門時間前に、子どもが校門前に集まる状況はあるのか。 ⑦ 民間事業者による「朝の小１の壁」問題に対する取り組み意向は確認ができていますか。 ⑧ 大府市が２学期から体育館を利用した「朝の小１の壁」対応をすることが新聞報道されました。どのように受け止めますか。 ⑨ 先進事例として、大阪府豊中市は令和６年度から体育館を利用した見守り事業を始めている。群馬県高崎市では、来年度から教室などを利用した対策を始めます。本町としての取り組みについてお尋ねしたい。
--	--